

社說

朝鮮人自から考ふ可し
朝鮮人は未開國人の常として傲慢自尊、只管他國人を輕蔑するの風なりしが外國と交通を始むるに及び自かは國力の足らざるを悟りて他に依頼するの心を生じ最初は支那に親んで殆んど屬國の姿を成し次で日本に依て國を維持せんとして國事を改革し獨立の實を勉めたるは一昨年より昨年までの事實なりしに近來に至りては遂に發明したるものゝ如く日本は竊に野心を懷き朝鮮を併呑するの志あり決して依頼す可さの國に非ず左ればとて支那も頗るに足らず露國も面白からず世界の中にて公平無私、眞實無み甲斐あるものは米國のみなれば此國に依頼して立國の計を爲す可との説を唱ふるよし一見或は其知識の進歩を認む可きが如くなればこそ今更ら野心云々を以て他を怖るもとは驚入たる新發明と云はざるを得ず今の世界に孰れの國か野心なきものあらん表面にうつくしき外交の其裡には恐ろしき心を駆むるの常にして若しも國內の始末不行届として兵備の用意もなく恰も開放し同様の國あらんにして是他の吞滅は免る可らず即ち各國共に競ふて海陸の軍備に急らざる次第なり左れば日本も素より野心なきに非ず否な野心たつぶりにして折さへあれば世界を征服するの大壯圖も敢て絶無と云はず朝鮮の如き日本之力を以てすれば一箇月を出でて全く取るを得べし誠に容易の誠なれども取ると取らざるとは吾々日本に於て是の如く日本の野心と云々するとは何事ぞや抑も古代の歴史を見るに西洋にては亞歷山東洋にては成吉汗などは鷹林八道は既に已に我所領に歸したるひと疑ふ可らず決して今日を待たざるに然るに彼等が今更ら新發明の如く日本との野心と云々するとは何事ぞや抑も古代の爲さず和戦共に靜に利害を考へて冷に判断する其目的は只自國の利益のみ例へば米國の如き獨立以來の發展は驚く可程にして今は世界屈指の富國と爲りたれども若しも其當時英國が危くまでも脅力を加へて自由を得せしめざらんには今日の發達は到底見る可らざるのみか英も收支相償はざるの困難に陥りて始末に苦しみたるほどならんに獨立の一舉偶然にも其發達を促進したる英國との商貿易も盛に行はれ之が爲めに双方共にして益するは實際の事實なり左れば英人の中には今の方の説を唱ふるものよりある程にして今の時代に利益もなき他國の發展なれば誰ましても恐る可らず一方に脅威するなど種々の面倒多きのみならず實に被ふるは到底叶ふ可らず全國の人民を奴隸として従えられれば假想力を張するみと勿論なるも一方には壓力を加へれば得せしめ商貿易の利を利するみそ本國の利益なる可知る可し、今日本が朝鮮を取るは誠に造作もなけれども、假想力を張するみと勿論なるも一方には壓力を加へれば

○帝國戰艦富士
英國プラックウォールのチームス鐵工所に於て製造中なりし日本戰艦富士は三月三十一日に進水式を挙げたるよし元來同艦の落成期限は三年六ヶ月の約束にして一昨年九月一日に龍骨を据ゑ付け初めの間は毎週八十噸の割合にて其構造を爲したりしが中途に日清戰爭起り竣工を急にするの必要を感じ前の約束を改めて三百三十四噸を構造し艦體の中にて鋼鐵を要する部分は悉皆その工事を終れり即ち上部、中央部、主部の諸甲板も鋼鐵を以て敷き詰め又木造甲板も半鑑室の邊を除き餘は將さに落成せんとし外部の甲鐵も今や殆んど竣功せんとす此外櫓を初め都ての備へも略ば完全し居り尙ほ進行機はデッブオードのハム・フリース・テナント會社その注文を引受け進水式の済み次第直に其据付に取り掛りたる筈なりと云ふ

○日佛間の條約改正
獨逸との條約改正も已に調印済となりしが佛蘭西との條約改正も近日の中に調印の運となるべしと云ふ

○軍事公債の發行
大藏大臣は同省令第三號に據り一昨日又々軍事公債三萬圓を發行し額百圓に付九十八圓九十錢の價格を以て日本銀行に交付したり

○拓殖務省と臺灣總督府
拓殖務省の位置は臺灣總督府の位置は拓殖務省の次會計檢査院の前に列序するみると定められたり

○露清密約と李鴻章
李鴻章は頃日或人に語りて曰く露清密約とは跡形もなく虛説にして若し坊間とに喧傳するが如き條約を訂結したりとせば其義弟に及ばず危害は實に測るべからざるものわらん隨つて又余の露國行が此密約に關して何等かの意味ある如く傳ふるも全く虚構の事なりと

○回々教暴徒未だ鎮定せず
支那ガゼットに據れば甘肅より北京に達したる近電に暴徒は未だ鎮定せずののみならず益々猖獗ならんとするの勢あり都督薰福祥は再び回々教暴徒と奮戦し少しく敗北したりとありしよし

○回々教暴徒未だ鎮定せず
支那ガゼットに據れば甘肅より北京に達したる近電に暴徒は未だ鎮定せずののみならず益々猖獗ならんとするの勢あり都督薰福祥は再び回々教暴徒と奮戦し少しく敗北したりとありしよし

「貴君の事ですから、薄々御承知でせうけれど、彼の赤城といふ人と町がどうも變で、いましてね、尤も彼があんなものですから、赤城が人が悪うしないますので、眞物にしやうと思つたのでせう、夫とも知らずに町が歎されまして、一しきりといふもののは、何でも赤城で無ければいけないと、丸で辯護士は赤城一人の様に、あんまり大騒ぎを遣り過ぎますので、私もあれは歎だと勧づきますとね、成日赤城から彼へ送りました文を拾ひましたので、何もかも分つて仕舞ひました。

般無通さりと、吾は思はず冷汗を流した。

「其手紙を讀みますと、何でも赤城から町へ五十四計りの賄金の無心でした、夫から私もあれは捨ては置けないと、町に懲り難い教しましたと云う。丁度其時は彼も方々で赤城の噂を聞いて、ちと厭氣になつて居た時だもんですから、私の意見も甚く利害ましたので、夫から車輿教の方も示談にして車輿の方とつけて仕舞つた方がよからう、左擱すれば自然

馴小合婿說

第十九回 合婿說

「貴君の事ですから、薄々御承知でせうけれど、彼の赤城といふ人との町がどうも變で、いましてね、尤も彼があんなものですから、赤城が人が悪うまいますので、喰物にしやうと思つたのでせう、夫とも知らずに町が欺されまして、一しきりといふものは、何でも赤城で無ければいけないと、丸で辯護士は赤城一人の様に、あんまり大騒ぎを遣りますので、私もみれば妙だと勘づきますとね、或日赤城から彼へ送りました文を拾ひましたので、何もかも分つて仕舞ひました。

『其手紙を読みますと、何でも赤城から町へ五十圓計りの賄金の無心でした、夫から私もあれば捨ては置けないと、町に懲々意見致しましたとみろ、丁度其時は彼も方々で赤城の噂を聞いて、ちと腹氣になつて居た時だもんですから、私の意見も軽く利害ましたので、夫から早速親切の方も示談にして單一の方とつけて仕舞つた方がよからう、左擱すれば自然

○帝國戰鬥艦富士

赤城とも疎遠にな
あかぎともそえん

○帝國戰艦富士

英國プラックウォールのチームス鐵工所に於て製造中なりし日本戰艦富士は三月三十一日に進水式を舉げたるよし元來同艦の落成期限は三年六ヶ月の約束にして一昨年九月一日に龍骨を据ゑ付け初めの間は毎週八十ヶ年に短縮し爾來毎週百噸の割合に増加し工事を急ぎ二噸の割合にて其構造を爲したりしが中途に日清戰争起り竣工を急にするの必要を感じ前の約束を改めて三百三十四噸を構造し艦體の中にて鋼鐵を要する部分は悉皆その工事を終れり即ち上部、中央部、主部の諸甲板も鋼鐵を以て敷き詰め又木造甲板も洋鎧室の邊を除き餘は將さに落成せんとし外部の甲鐵も今や殆んど竣功せんとする此外櫓を初め都ての備へも略ば完全し居り尙ほ進行機はツップフォードのハム・フリース・テナント會社その注文を引受け進水式の済み次第直に其据付に取り掛りたる筈なりと云ふ

○日佛間の條約改正

獨逸との條約改正も已に調印済となりしが佛蘭西との條約改正も近日の中に調印の運となるべしと云ふ

○軍事公債の發行 大藏大臣は同省令第三號に據り一昨日又々軍事公債三萬圓を發行し額西百圓に付九十八圓九十錢の價格を以て日本銀行に交付したり

○拓殖務省と臺灣總督府 拓殖務省の位置は遞信省の次に臺灣總督府の位置は拓殖務省の次會計檢査院の前に列置するふとに定められたり

○露清密約と李鴻章

て曰く露清密約坏事とは跡形もなく虛説にして若し坊間で宣傳するが如き條約を訂結したりとせば其義理に及ばず危害は實に測るべからざるものあらん隨つて又余の露國行が此密約に關して何等かの意味ある如く傳ふるも全く虛構の事なりと

○回々教暴徒未だ鎮定せず 支那ガゼットに

據れば甘肅より北京に達したる近頃に暴徒は未だ鎮定せざるのみならず益々猖獗ならんとするの勢あり都督薰福祥は再び回々教暴徒と奮戦し少しく敗北したりと

赤城とも遠慮にな
べて居ましたのをな
どれ町に苦情を言
と争論をして、も
んですから、一刻も
貴君に願つたので
初めて明かす大秘密
が目論で居る様な事
かざりし文に、大嘗
組みしなり。
「私が知つて居るの
謝金をして、別
そ、又彼の様に上
後もれ町と寄りり
も知れませんが、
とは思はれませぬ
も有つたのですか
も立派に左様では
ふ譯にも行きませ
から、貴君も今迄
もして下すつたと
世話になりましか
穩便に纏まる様、
もすつて下さ
何の事は無く、古
來て、膏と絞られる
持つ身の不自由は
るは是非もなし。
「夫ですか、私
らどうか内分に
さるやうに御馳
「成程、今更何と申
に角歸つて一つ相
實の所二千圓では仕
増、幾らにても取り